

東日本大震災後、私にできたこと

理工学部教授 山崎 省一

1) 運動指導教室

NPO法人石巻体育協会との共同事業

・エコノミー症候群予防体操教室

兵庫県南部島地震、新潟県中越地震後にエコノミー症候群が多発していたことを受けて、石巻市内の避難所で運動指導を実施した。NPO法人石巻市体育協会と合同で実施した。エコノミー症候群予防体操のパンフレット(原本は東北福祉大学作成)を全国大学体育連合の協力により、30,000枚作製し、岩手県、宮城県(仙台、石巻、東松島、女川)、福島県に10,000枚ずつ配布した。

NPO法人石巻スポーツ振興サポートセンターとの共同事業

- ・平成24年9月から開成地区の仮設住宅住民を対象に6回の運動教室を実施した。この際、唾液検査によるストレステストも行っている。また、平成25年1月15日から同地区で6回の運動教室を実施した。
- ・国内外に向け、ホームページから募金活動を実施。各小中高校等に体育やクラブ活動で必要とされる関連物資の支給を実施した。
- ・平成23年度地域づくり総務大臣表彰(団体賞)を平成24年2月2日に受賞。受賞理由はスポーツ弱者への支援活動や石巻の復興に向けた取り組みが評価されたことによる。
- ・平成24年3月6日、(社)スポーツ健康産業団体連合会より、第4回地域・スポーツ振興賞(最優秀賞・経済産業省商務情報政策局長賞)を受賞。受賞理由は、ま

ちなかうオーキング、フットサル、復興ウオーキング等の活動が評価されたことによる。

2) 視察、研修会、講演等の活動

- ・日本体育学会会長、全国大学体育連合理事長等の被災地の視察案内を実施した。
- ・平成23年6月29日に全国大学体育連合と共同で被災地視察と講演会を、全国大学体育連合加盟会員に呼びかけて実施した。29日には講演「被災地の現状」「スポーツと安全」について山崎が講演し、30日は南三陸町、大川小学校、女川、石巻市内、野蒜地区を視察した。
- ・平成24年8月27日から30日、同年9月10日から13日までの3泊4日の研修会を2回、企画し、運営した。参加学生は石川県内大学生と社会人を合わせて60名である。両研修とも2日目の夜に参加学生と石巻専修大学学生との交流会を実施した。この研修の一環として、11月17日に金沢市で開催された「いしかわ災害ボランティアきずなフォーラム」に招待され、基調講演「私にできること」と題して講演した。
- ・平成24年9月1、2日にグリーンホール相模大野、相模女子大学を会場として第9回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムが開催された。第3分科会において、「被災地域における地元の学生活動とその支援」について報告し、引き続き理工学部情報電子工学科4年の村山司君が「私が体験したボランティア活動」と題して、体験談を報告した。

3) 石巻のスポーツ施設、文化施設の将来像について作成

石巻市南浜地区を震災メモリアル公園にする計画として、具体的な運動施設としての活用計画書を作成し、日本体育協会、東京都オリンピック招致委員会、宮城県体育協会に提出した。平成24年10月4日に開催されたスポーツコミッション研究会（東京都神田）において、基調講演として「石巻のスポーツと観光」について講演を行った。平成24年12月より（仮称）南浜シンボル公園及び中瀬公園ワークショップ参加者として、活動している。

4) 一般財団法人日本アスリート会議「ウォームアップジャパン」実行委員会での活動

平成23年8月より実行委員会委員、平成24年6月から副委員長として岩手県、宮城県、福島県で実行される活動の支援等を行っている。

平成23年11月26日に石巻専修大学体育館、森口記念館で「武道フェスティバル」を開催、スポーツライターの玉木正之氏による講演会を企画運営した。平成24年10月6、7日に石巻市総合体育館で2回目の「武道フェスティバル」、石巻グランドホテルで玉木正之氏の講演会を企画運営した。

5) その他の活動

宮城県・岩手県・東京都に在住する岩手県立釜石南高等学校昭和44年卒業生の仲間で、平成23年9月に釜石市内と大槌町内の2か所、11月7日にせんだいメディアテークにて「ナターシャ・グジーコンサート」を開催した。平成24年6月3日に仙台市太白区文化センターにて、「ナターシャ・グジーコンサート2012」を開催し、その余剰金をもとに釜石市内で和太鼓と書の競演会を開催した。